

千歳市立千歳中学校

全校生徒数：536名 実施学年：全学年

端末持ち帰りモデル

デバイス : Chromebook
OS : ChromeOS
学習eポータル : まなびポケット
アプリ : ミライシード

■ 取組の方法

- 全ての生徒が「まなびポケット」を活用した学習に慣れることをねらいとして、端末を平時においても持ち帰りできる体制を整備した。
- 生徒は、各教科等の課題やデジタルドリルを活用した学習に取り組むとともに、生徒会活動や委員会活動における資料作成等に端末を活用した。
- 校内のICTプロジェクトチームが家庭における端末の活用に係る約束を作成し、全家庭に配付した。
- 冬季休業中は、デジタルドリルを活用した学び直しを推奨するとともに、教員が学習履歴を確認するなど、生徒の活用状況を把握した。
- 生徒は、年間を通して活用している「Myゴール手帳」に、日常の生活リズムのチェックと端末活用状況を記録した。
- 校内では、学習した内容等の定着を目的とした退職教員等外部人材講師による放課後学習をデジタルドリルを用いて実施した。

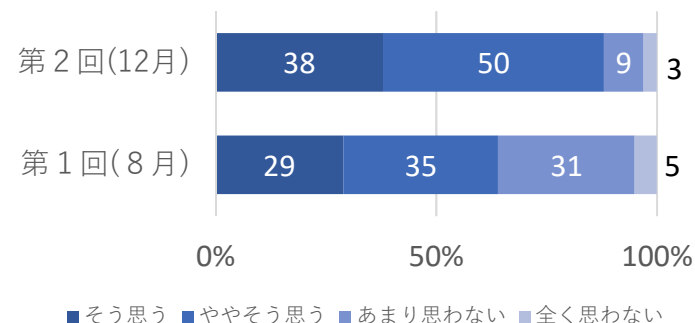


【Myゴール手帳の記録】

■ 生徒の変容

- 12月に第1学年を対象に実施した生徒アンケートの「端末の持ち帰りは、学習習慣の定着や学習内容の定着に役立つと思う」の項目において、肯定的な回答をした生徒の割合は、8月の64%から88%となり、24%増加した。
- 11月頃から、授業におけるICT活用の場面において、生徒が自分の考えを積極的に入力する様子が多く見られるようになるなど、家庭における端末活用が授業改善につながった。

「端末の持ち帰りは、学習習慣の定着や学習内容の定着に役立つと思う」



北広島市立西部中学校

全校生徒数： 141名 実施学年：全学年

端末持ち帰りモデル

デバイス : Chromebook
OS : ChromeOS
学習eポータル : まなびポケット
アプリ : Google Workspace for Education

取組の方法

- ・長期休業中に、「スプレッドシート」を活用し、休業中の計画表及び学習記録を毎日記録させた。
- ・「スプレッドシート」には、学習した教科や時間を入力するだけでなく、学習の取組について振り返りのコメントを入力できるようにした。
- ・共同編集者である学級担任や教科担任が、生徒が記入した内容を確認するとともに、生徒の質問に答えたり、学習を支援するコメントを入力したりするなど、生徒の学習の意欲を高めるよう、工夫した。
- ・校内研修において、端末の持ち帰りにより、生徒の学習の課題を見取れることや、課題のアドバイスやヒントを追加発信できることなど、活用方法のよさについて共通理解を図った。

夏休みの学習と生活の記録

3年 4組 6番 佐藤

学習記録は毎日記入できるように記録する。

学年を記録する。

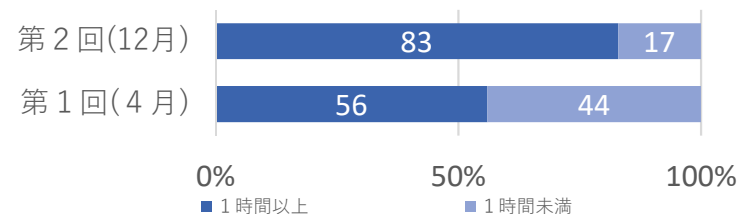
日	月	学習した教科	学習時間	学習のコメント	先生から
7月26日	火	国語	1時間	国語の授業で、漢字の練習をした。漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。	漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。
7月26日	水	国語	1時間	国語の授業で、漢字の練習をした。漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。	漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。
7月27日	木	国語	1時間	国語の授業で、漢字の練習をした。漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。	漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。
7月28日	金	国語	1時間	国語の授業で、漢字の練習をした。漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。	漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。
7月29日	土	国語	1時間	国語の授業で、漢字の練習をした。漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。	漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。
7月30日	日	国語	1時間	国語の授業で、漢字の練習をした。漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。	漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。
7月31日	月	国語	1時間	国語の授業で、漢字の練習をした。漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。	漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。
8月1日	火	国語	1時間	国語の授業で、漢字の練習をした。漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。	漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。
8月2日	水	国語	1時間	国語の授業で、漢字の練習をした。漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。	漢字の練習は、漢字の練習が大切だと思った。

【長期休業中の学習と生活の記録】

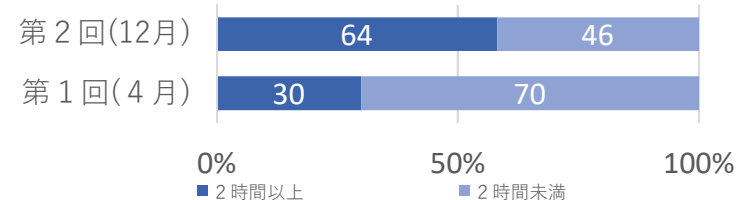
生徒の変容

- ・4月実施の全国学力・学習状況調査の生徒質問紙及び12月実施の生活アンケートにおいて、「平時に1時間以上家庭学習する」「土日に2時間以上家庭学習する」と回答した第3学年生徒の割合が平日で27%、土日で34%増加するなど、長期休業中の学習習慣確立の取組や端末を活用した学習アプリの活用などの成果が見られた。
- ・教科アンケートにおいて、「ICT端末の持ち帰りは、学習習慣・生活習慣確立に役立つ」と回答した全生徒の割合が各教科で増加し、生徒が端末持ち帰りの成果を実感することができた。

「平日の家庭学習時間」(第3学年)



「土日の家庭学習時間」(第3学年)



北広島市立西の里中学校

全校生徒数： 194名 実施学年：全学年

端末持ち帰りモデル

デバイス : Chromebook
OS : ChromeOS
学習eポータル : まなびポケット
アプリ : Google Workspace for Education

■ 取組の方法

- ・長期休業中に、昨年度まで紙面で取り組んでいた休業中の計画表及び学習記録を「Forms」を使って毎日記録させた。
- ・各教科担任が作成した課題を「Classroom」に配信するとともに、共同編集者である全教員が、生徒たちの記入内容や課題の正答率、誤答の内容など、生徒の学習状況を把握した。
- ・教員は、生徒の実態に応じて、課題の内容を修正したり、追加したりした。
- ・長期休業中において、「Classroom」のコメント欄を活用して生徒からの質問について教員がアドバイスをした。
- ・校内研修において、端末の持ち帰りにより、生徒の学習の課題を見取れることや、課題のアドバイスやヒントを追加発信できること、達成率を客観的な数値ですぐに把握できることなど、活用方法のよさについて共通理解を図った。

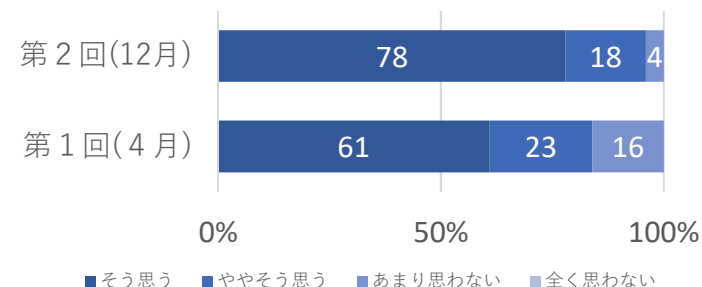
	2. 今日の起床時間 を教えてください。 曜日は何曜ですか？	3. 今日の学習内容と学習 時間を記入してください。
2023/12/23	1899/12/30 7:30:00	英単語の練習、英語のスピー
2023/12/24	1899/12/30 7:00:00	国語の和歌、英語の教科書
2023/12/25	1899/12/30 7:00:00	英語の単語、スピーチ、対話
2023/12/26	1899/12/30 8:00:00	学習ワーク、国語練習、
2023/12/26	1899/12/30 6:00:00	英語のスピーチ、単語、教科
2023/12/27	1899/12/30 6:45:00	英語のスピーチ、単語、教科

【長期休業中の学習と生活の記録】

■ 生徒の変容

- ・12月に実施した全校生徒対象の生活アンケートにおいて、「ICTを活用した家庭学習は、学力向上に効果があると思う」と回答した生徒の割合が、4月の61%から78%に増加した。
- ・「学力向上に効果がある」と回答した理由について、「自分の答えが合っているか間違っているかすぐにわかる」、「効率がよい」、「先生に質問することができる」など、生徒が端末持ち帰りのよさを実感することができた。

「ICTを活用した家庭学習は、学力向上に効果があると思う」



小樽市立銭函中学校

全校生徒数：198名 実施学年：全学年

端末持ち帰りモデル

デバイス : Chromebook
OS : ChromeOS
学習eポータル : 実証用学習eポータル、学びポケット
アプリ : ミライシード、
Google Workspace for Education

■ 取組の方法

- 「ミライシード」を活用した自律的な学び
 - ・退職教員等外部人材を活用した「放課後自習室」による指導
 - ・日常的な端末の持ち帰りによる自分のペースにあった学習の確立
 - ・「Meet」を活用した学習相談の実施（長期欠席者への支援）
- 「フォーム」や「スライド」、「スプレッドシート」を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
 - ・「フォーム」による小テストを実施し、解き直しを可能にすることで、自ら学ぶ姿勢を育成
 - ・「スライド」や「スプレッドシート」を活用して他者と考えを共有することにより、深い学びを実現
- 長期休業期間の端末の持ち帰り
 - ・端末を活用した課題の取組
 - ・「夏の自習室」「冬の自習室」での活用
- 欠席者、臨時休業中の授業配信
 - ・「誰一人取り残さない」学校・学級づくり
 - ・生活リズムの確立



【退職教員等外部人材による放課後指導】

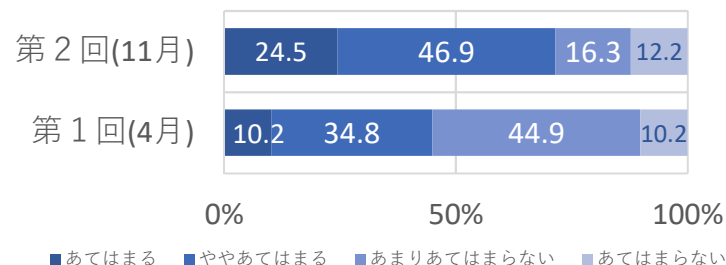


【端末による取組状況の把握】

■ 生徒の変容

- 放課後自習室への参加数（1日あたりの平均参加数）
6月は17.5人であったが、11月は20.7人に増加した。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日
当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（120分以上の割合）
4月は20.4%であったが、11月は45.2%に増加した。

自分で家で計画を立てて勉強していますか



函館市立桔梗中学校

全校児童数：535名 実施学年：全学年

端末持ち帰りモデル

デバイス : Chromebook
OS : ChromeOS
学習eポータル : L-Gate
アプリ : ミライシード

■ 取組の方法

○ 家庭と連携し、学習アプリ「ミライシード」を活用した家庭学習を支援する取組

(1) 1学期

- ・校内ICT委員会で作成した端末持ち帰りのルールを全職員で共有するとともに、保護者へ周知
- ・保護者協力の下、夏季休業期間中に、学習アプリ「ミライシード」を活用した家庭学習を支援

(2) 2学期

- ・日常的な端末の持ち帰りを開始するとともに、生徒一人一人に応じた自主学習に向けた働きかけ
- ・蓄積されたスタディログ(学習履歴)により生徒の学習状況を把握

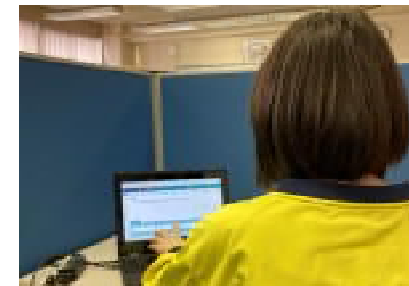
(3) 3学期

- ・スタディログ(学習履歴)に基づき生徒一人一人に応じた家庭学習の工夫改善に向けた指導助言

家庭学習等に活用するための端末の持ち帰りについて

日頃から本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。
全国的な調査結果から学習用端末を持ち帰って過剰で利用できるような学校の方が持ち帰らせていない学校に比べて平均正答率が高い傾向があり、家で自分で計画を立てて勉強している生徒はどの教科の平均正答率が高い傾向にあり、一方で、授業以外の学習時間が1時間以上勉強をする生徒の割合が全国に比べ低い状況にあることがわかりました。
そこで本校においても、学習用端末等で函館市教育委員会が導入している学習支援システム「ドリルパーク」等を活用するなどして家庭学習の習慣の定着を促し学習用端末等を持ち帰ることといたしましたので、学習用端末を利用する場合は、別紙の約束を守ることや、端末を忘れた場合は学校での学習に支障がでることから、必ず充電して登校時には持参するようご家庭でもご理解・ご協力をお願いいたします。

【端末の持ち帰りについて保護者へ周知】



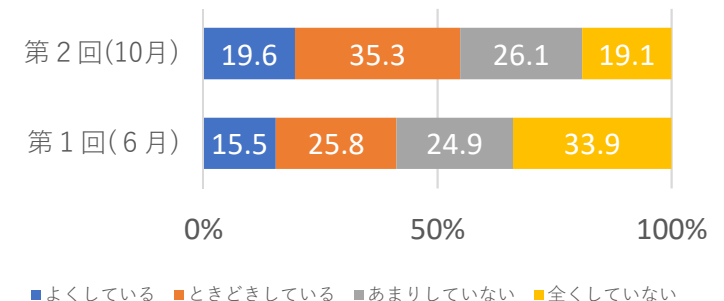
【端末を活用した自主学習】

■ 生徒の変容

家庭と連携し、クラウドを活用した家庭学習の支援を行ったことにより、「家で、ICT機器を使って勉強していますか」のアンケート項目において、肯定的な回答をした生徒の割合が、6月と比較して10月では13.6%上昇した。

生徒が、スタディログ(学習履歴)を活用して学習状況を把握し、自主学習に取り組むことにより、学習習慣の定着を図ることができた。

「家で、ICT機器を使って勉強していますか」



七飯町立七飯中学校

全校生徒数：288名 実施学年：全学年

端末持ち帰りモデル

デバイス	: Chromebook
OS	: ChromeOS
学習eポータル	: L-Gate
アプリ	: Google Workspace for Education

■ 取組の方法

○ 日常的な1人1台端末の持ち帰りによるクラウドを活用した生活習慣や家庭学習の支援をする取組

(1) 生徒一人一人に応じた生活習慣や学習への支援

- ・クラウドを活用した授業配信や学習課題等の配付、生徒から提出された課題への即時のフィードバックを行うなど、生徒の学習意欲の向上を図る
- ・「Forms」を活用し、夏季休業期間中の生活の様子や学習時間を可視化することにより、生活習慣・学習習慣の改善を促進

(2) 日常的な端末の活用

- ・各教科等の授業において、端末を活用し、発表資料の共有や、共同編集の場面を位置付ける
- ・「Meet」を活用し、教室の授業や体育館での集会等を別室登校生徒に配信



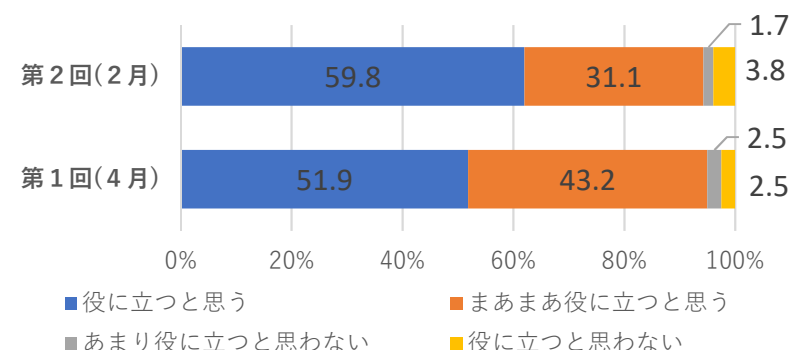
【授業配信による学習支援】

■ 生徒の変容

日常的に端末を持ち帰らせ、継続的な学習支援を行ったことにより、「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」と回答した生徒の割合が4月と比較して、2月では7.9%上昇した。

端末を活用し、学校と家庭や、別室をつなぎ、生徒同士が交流する機会を確保したことにより、不登校生徒及び別室登校生徒の帰属意識が高まった。

「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」



美瑛町立美瑛中学校

全校生徒数：220名 実施学年：全学年

端末持ち帰りモデル

デバイス : Chromebook
OS : ChromeOS
学習eポータル : L-Gate
アプリ : eライブラリ、ロイロノート、
Google Workspace for Education

■ 取組の方法

1 端末持ち帰り学習支援

「ロイロノート」、「Classroom」等を活用して授業記録等を振り返り、家庭での復習に活用

2 自己のスケジュール管理

見通しをもって学習や生活に臨むことができるよう「カレンダー」を活用して、学習（テスト・提出物期限等）等を入力

3 「eライブラリ」の活用

授業の復習や到達度・学力テスト対策、高校受験に向けた学習等、学校や家庭での「隙間時間」に幅広く活用

期日	1/25 木	1/26 金	平均	注
予定				平均
①就寝時刻(前日の)	21 時	21 時		●③～⑤は、小数(半角英数)で表す。
	0 分	0 分		⑥
②起床時刻	7 時	7 時		7時間15分=7. 25
	0 分	0 分		7時間30分=7. 5
				7時間45分=7. 75
③睡眠時間	9	10	9.3	自己評価(選択) : 翌週月曜日に入力
④学習時間(授業以外、 塾、学習塾、模範校等)	2	1	1.4	睡眠十分
⑤運動時間(部活動含む)	2	2	1.6	学習十分
⑥ゲーム、動画(座 席)の視聴時間	1	3	1.4	運動十分
⑦朝ごはんの摂取 状況				少し視聴時間が長い

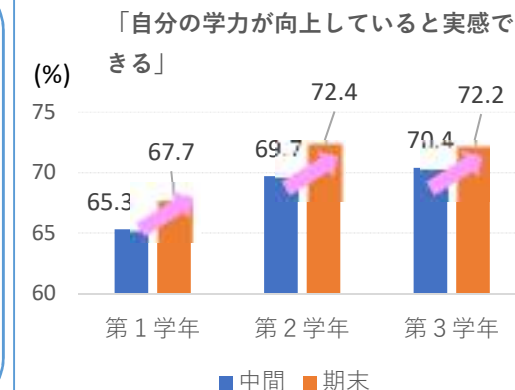
【生活リズムチェック表】

4 自己の生活リズムチェック

毎月の特定の1週間を「チェック週間」とし、端末に入力することを通して、自己の家庭での生活状況の振り返りを実施

■ 生徒の変容

- ☐ 自ら進んでスケジュールを管理したり、eライブラリを活用したりする生徒が増加
- ☐ 生活リズムチェックにおいて、「学習時間」、「睡眠時間」、「朝食摂取」の項目で、およそ40%の生徒が改善の成果を実感
- ☐ 学校評価では、「自分の学力が向上している」と実感できた生徒の割合が、全学年で増加



帯広市立帯広第八中学校

全校生徒数：425名 実施学年：全学年

端末持ち帰りモデル

デバイス : Chromebook
OS : ChromeOS
学習eポータル : 実証用学習eポータル
アプリ : Google Workspace for Education

■ 取組の方法

○生徒が、「Classroom」を活用し、日々の授業の復習や振り返りなどを家庭で行う取組

- ・クラウド上で共有した各教科の学習計画を生徒が家庭で確認できるようにすることにより、見通しをもちながら授業の振り返りを行ったり、復習する内容を選択したりできるように工夫
- ・家庭学習の取組を「Classroom」に提出することにより、教師が生徒一人一人の取組を短時間で把握するとともに、即時的なフィードバックができるように工夫

○不登校生徒への学習支援

- ・Meetを活用し、希望生徒が放課後に接続できるようにすることにより、家庭学習のサポートや、授業内容の補習等を実施

○長期休業中の取組

- ・生徒の自主的な参加となるよう、対面とオンラインを選択できるハイブリットによる学習会を開催し、家庭学習の支援を実施

学習活動	振り返り
例)「理由づけ」の3要素 方法	三角ロジック事実(データ)、根拠(理由付け)、主張(結論) 例) 事実→テストの点数が悪かった。 根拠→勉強しなかったから。 主張→いい点数をとれるように勉強しよう。 方法①→事実→根拠→主張 方法②→根拠→主張
例)「理由づけ」の3要素 理由づけの根拠 例)「理由づけ」による分析の仕方	三角ロジック→事実と主張を結びつけ、主張に説得力をもたせる方法 事実 → 理由付け → 根拠 → 根拠は、「主張」に 説得力をもたせるために重要。 → 例に「事実」でも「理由づけ」によって正否対照「主張」ができ

【学習の振り返りの視覚化】

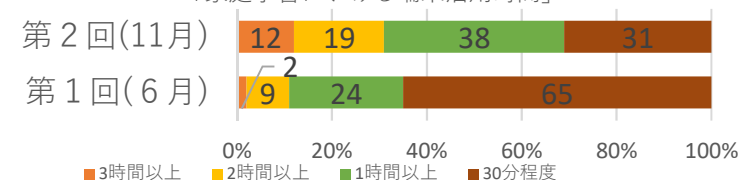


【放課後学習のクラスルーム】

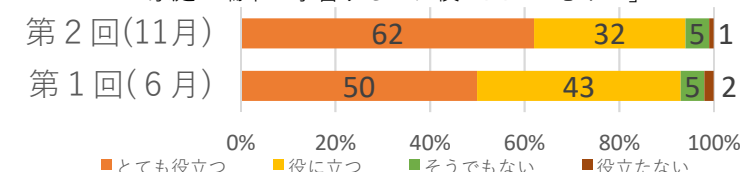
■ 児童の変容

- ・6月と11月に実施した生徒アンケートの結果において、「家庭学習に端末を1時間以上活用している」と回答した生徒の割合が増加するなど、家庭学習における端末活用の習慣が身に付いてきている。
- ・「家庭で端末で学習するのは役に立つと思うか」の設問について、肯定的な回答をする生徒の割合が増加するなど、生徒自身が端末を活用した学習に効果を感じていることが明らかとなった。

「家庭学習における端末活用時間」



「家庭で端末で学習するのは役に立つと思うか」



釧路市立景雲中学校

全校生徒数：557名 実施学年：全学年

端末持ち帰りモデル

デバイス : Chromebook
OS : ChromeOS
学習eポータル : L-Gate
アプリ : Google Workspace for Education

■ 取組の方法

① 取組のねらい

端末の持ち帰り及び端末を活用した取組の推進を通して、日常の授業内容と関連した家庭学習環境を整え、自主・自律的な学習習慣の確立を図る。

② 実施内容

授業や家庭学習における組織的な「MEXCBT」の利活用

③ 実施方法

- ・家庭学習の課題として、国語・数学・社会・英語・理科の5教科で「MEXCBT」を活用
- ・生徒一人一人の家庭学習の記録を基に、各教科担任が定着状況を確認し、授業改善を実施
- ・全教員を対象とした「MEXCBT」活用に係る研修会を実施
- ・各教科担任が、授業との関連を踏まえた家庭学習課題を検討



【授業で「MEXCBT」を活用して学ぶ生徒の様子】

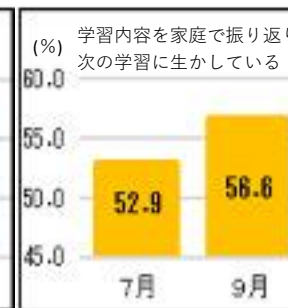
■ 生徒の変容

- ・「MEXCBT」の活用による授業内容と関連した家庭学習を実施したことにより、「自分で計画を立てて家庭学習をしている」「学習内容を家庭で振り返り、次の学習に生かしている」と回答する生徒の割合が増加するなど、自主・自律的に学習する生徒の様子が見られた。
- ・端末の持ち帰り及び端末を活用した取組を推進したことにより、「家庭でICT機器を使って学習している」と回答する生徒の割合が増加するなど、ICTを用いて自主・自律的に学習する生徒の様子が見られた。

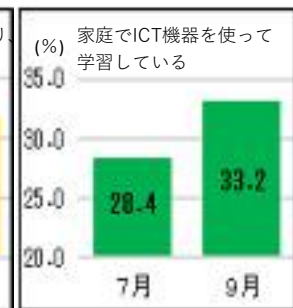
【学習アンケートの結果】



「よくしている」「ときどきしている」と回答した生徒の割合の推移



「している」「どちらかといえばしている」と回答した生徒の割合の推移



「よくしている」「ときどきしている」と回答した生徒の割合の推移

釧路市立美原中学校

全校生徒数：142名 実施学年：全学年（希望者）

端末持ち帰りモデル

デバイス : Chromebook
OS : ChromeOS
学習eポータル : L-Gate
アプリ : ロイロノート、
Google Workspace for Education

■ 取組の方法

① 取組のねらい

端末の持ち帰り及び端末を活用した取組の推進を通して、生徒一人一人の学習進度や興味・関心に応じて学ぶ環境を整え、自主・自律的な学習習慣の確立を図る。

② 実施内容

希望する生徒(不登校または不登校傾向が見られる生徒を含む)を対象とした、端末を活用した放課後学習の実施、放課後自習室の開設

③ 実施方法

- ・退職教員等外部人材講師による放課後学習の実施
- ・「ロイロノート」を用いた受講者への課題提示及び提出された課題へのフィードバック
- ・「Meet」を活用したオンライン学習の実施
- ・生徒の登校状況や学習進度に応じた職員間及び家庭との連携



【「ロイロノート」を用いた課題提出】

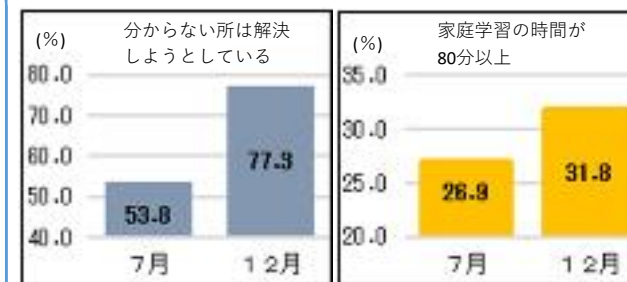


【教員によるフィードバック】

■ 生徒の変容

- ・クラウドを用いて、受講者への課題提示及び提出された課題へのフィードバックを実施したことにより、「分からない所は解決しようとしている」と回答する生徒の割合が増加するとともに、疑問について教員へ質問をする生徒が多く見られるようになるなど、生徒が自らの学びを調整しつつ自主・自律的に学習することにつながった。
- ・端末を活用した放課後学習の実施及び放課後自習室の開設を行ったことにより、「家庭学習を80分以上している」と回答する生徒の割合が増加するとともに、自己の学習計画を改善しようとする生徒の姿が見られ、生徒の家庭学習の充実及び学習習慣の確立につながった。

【学習アンケートの結果】



※「ほぼ全ての教科でしている」「そうしている教科が多い」と回答した生徒の割合

新十津川町立新十津川中学校

全校生徒数：161名 実施学年：第1学年

端末持ち帰りモデル

デバイス : iPad
OS : iPadOS
学習eポータル : 実証用学習eポータル
アプリ : eライブラリ

■ 取組の方法

今年度の全体研修は、主体的・対話的で深い学びに向けたICTの活用について、教師1人1授業を行うことで研究を深めている。タブレット端末の活用状況については、右表の通りである。なお、生徒は毎日タブレット端末を持ち帰ることができる。（学校は持ち帰りを推奨している。）

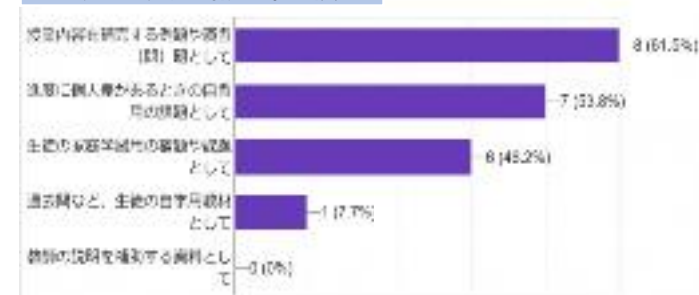
○ 第1学年数学科において取り組んだ内容

- ①AIドリルは、各自家庭学習や空き時間に自由に進めてよい。
- ②教科担任は、AIドリルに加え、教科書やワーク等でも宿題を出すなど、臨機応変に対応していく。
- ③生徒のタブレット端末活用については、定期的に指導を行う。

各教科週あたりのeライブラリ使用頻度



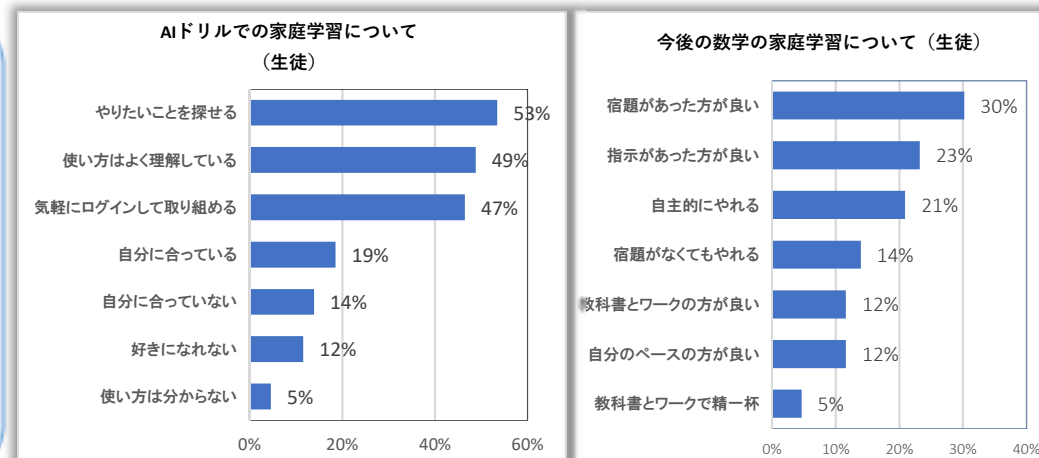
eライブラリの活用内容（教員）



■ 生徒の変容

教師による家庭学習の内容提示では、意欲的に取り組まない生徒が散見されたが、本取組において、生徒が自分のペースで学習することに肯定的な感想をもち、自主的な学習につながり、空き時間などにタブレット端末を活用して学習を進めている様子が見られた。「宿題を出してほしい、与えられた学習を行えばよい」という受動的な意識が生徒にあることから、日常的な指導をより充実させる必要がある。

令和6年1月実施の生徒アンケート結果



旭川市立旭川中学校

全校生徒数：213名 実施学年：全学年（不登校及び不登校傾向生徒）

デバイス : iPad
OS : iPadOS
学習eポータル : L-Gate
アプリ : ミライシード

端末持ち帰りモデル

■ 取組の方法

- **取組のねらい**
不登校及び不登校傾向生徒に対する学びの保障
- **「オンライン支援」取組内容**
 - ・ 端末持ち帰りによるオンラインでの学習支援、生活習慣確立支援
 - ・ 学習アプリ「ミライシード」を活用した学習支援
 - ・ 不登校及び不登校傾向生徒の安全・安心な居場所づくり
- **取組のステップ**
 - step1** 目標設定、環境整備、遠隔による学習・生活支援
 - step2** スペシャルサポートルームにおける学習支援と人間関係づくり
 - step3** 設定した目標の達成



【オンライン支援の様子】

■ 生徒の変容

オンライン支援をきっかけに、スペシャルサポートルームへの登校や学級で授業を受ける生徒が増加。

【成果】

- 不登校生徒が学校とつながる選択肢を増やすことができた。
- 不登校及び不登校傾向生徒の登校日数が増加した。
- 「ミライシード」を活用したことにより、学習支援の内容が充実した。

対象生徒の状況の変化	8月	12月
オンライン参加生徒数	0	6名
ミライシード活用生徒数	0	5名
登校生徒数	6名	11名

東川町立東川中学校

全校生徒数：239名 実施学年：全学年

端末持ち帰りモデル

デバイス : iPad
OS : iPadOS
学習eポータル : L-Gate
アプリ : ロイロノート、Goodnotes

■ 取組の方法

- ① 1人1台端末の持ち帰り（端末導入時から）
- ② ロイロノートを活用した、課題プリントの配付・提出
- ③ デジタルポートレートの活用（まとめ、振り返り、評価資料）
- ④ デジタルノートの活用（アプリ「Goodnotes」）
- ⑤ 欠席した生徒の授業視聴（オンライン配信）
- ⑥ オンラインアンケートの実施（授業の振り返り、学校評価アンケート等）

※ 令和3年度から業務支援ツール「コドモン」を活用した保護者への文書配付を実施

※ 学習eポータルについて、令和6年4月から「Qubena」のA I型教材を導入予定

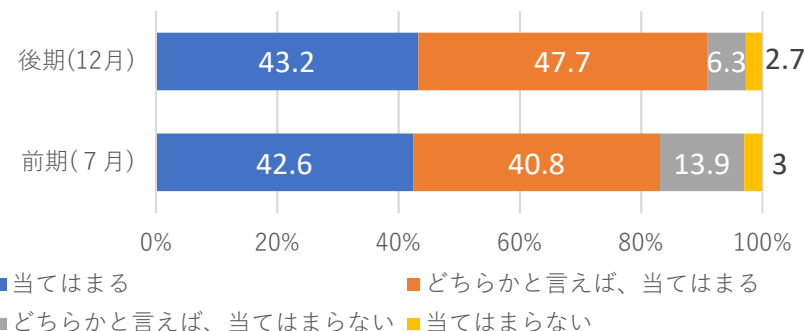


【端末を活用して学習する様子】

■ 生徒の変容

- 全ての授業において記録、まとめ、発表等で端末を活用しており、常用の学習ツールとしての活用スキルが身に付いてきている。
- 家庭学習について、課題の多くをロイロノートで配信、回収を行っており、1人1台端末の有効性を生徒が実感するとともに、生徒が隙間時間を使って取り組むなど、学習スタイルが変化してきている。

「ICTの活用により、学習への意欲が高まったり、学びが深まったりした」



江差町立江差北中学校

全校生徒数： 26名 実施学年：全学年

端末持ち帰りモデル

デバイス : WindowsPC
OS : WindowsOS
学習eポータル : Qubena
アプリ : SKYMENU

■ 取組の方法

(1) 端末の活用

①学校内での使用

- ・英語、数学でデジタル教科書の活用とアプリ等の思考ツールや発表ツールを活用した考えの整理や発表

②学校外での活用

- ・総合的な学習の時間（旅行行事含む）や学校行事に端末を持参し、カメラ撮影や資料作成ツールとして活用
- ・家庭に持ち帰り、自宅学習に使用（7月夏季休業から）

(2) ICT環境の整備

- ・家庭での端末活用に向けて持ち帰りを原則とし、教科書を学校保管可能とするなど教材の持ち帰りについて整理
- ・夏、冬休みの課題や学習会でのAIドリルQubena（キュビナ）の活用
- ・2学期以降、授業や家庭学習の課題としてAIドリルQubenaを使用

※ AIドリルQubena（キュビナ）は江差町で導入



■ 生徒の変容

- ・端末を授業内外で使用することで端末使用が習慣となり、学習意欲の向上につながっている。
- ・「好きなタイミングでできる」「自分で調べられる」「少しの時間でもできる」などのアンケート記述があり、端末を用いて主体的に学習に取り組む様子が見られる。
- ・「寝るのが遅くなった」「課題が増えた」「適当になってしまったためプリントの方がやりやすい」「メンテナンスが多い」などのアンケート記述があり、端末の使用によって学習しにくい面も見られることから、今後、活用場面や活用方法を検討する必要がある。

「家で、コンピュータなどのICT機器は勉強の役に立つと思いますか」

